

日本スポーツ心理学会第 48 回大会 2 号通信

第 48 回大会実行委員会

委員長 水落文夫（日本大学）

夏の太平洋高気圧がいよいよ本気を出してきそうな季節となりました。会員の皆様におかれましては、かつてないほどの業務多忙の中、益々ご清栄のことと存じます。本年度の大会は 10 年ぶりに日本大学が主管校です。しかし、新型コロナウイルス感染症の終息が難しい現状から、文理学部世田谷校舎での対面開催を諦め、昨年度に引き続きオンライン開催となりました。夏を控えて、東京 2020 オリ・パラ競技大会の開催はもうそこまで来ています。11 月の学会大会では、様々な視点からそのレガシーが語られ、価値を引き継ぐための議論が展開されることと思います。

また本年は、東日本大震災から 10 年になります。未曾有の大震災の中、社会に貢献するスポーツの力が改めて確認されました。そして 10 年、コロナ禍での東京 2020 オリ・パラ競技大会開催を巡る議論を誰もが目の当たりにして、今度は文化としてのスポーツの意義さえ試される年になりそうです。この否応ない社会変容は、社会の中のスポーツの役割を考える契機になりました。これを踏まえて本大会の企画には、「SDGs」「共生社会」「オープンイノベーション」といった言葉が並び、皆様の研究の展開や新たなアイデアを刺激するとともに、スポーツ心理学の新たな価値の創造を促しているように思います。

当大会実行委員会では、オンラインの利点を生かしつつ、ライブ感を重視した大会を目指して準備を進めております。大会実行委員一同、皆様の積極的な参加を心より願っております。

■ 大会期日と行事

11 月 20 日（土）～28 日（日） 一般発表（ポスター）開示、大会企画講演 《オンデマンド配信》

11 月 27 日（土） 一般発表（ポスター・口頭）、総会、情報交換会 《ライブ配信》

11 月 28 日（日） 一般発表（ポスター・口頭）、学会企画シンポジウム、
ラウンドテーブルディスカッション（RTD） 《ライブ配信》

■ 資格委員会からのお知らせ

2021 年度スポーツメンタルトレーニング（SMT）指導士研修会・講習会の申し込みおよび参加費支払い先は、学会大会への参加申し込みおよび支払い先とは異なりますので、ご注意ください。

資格委員会のホームページ（HP）：<http://smt.jssp.jp/>

■ 大会公式 HP：<https://taikai48.jssp.jp/>

■ 大会事務局

日本スポーツ心理学会第 48 回大会事務局

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40 日本大学文理学部体育学科 高橋正則研究室内

TEL: 03-5317-9717、FAX: 03-5317-9426、E-mail: conf@jssp.jp

■ 大会スケジュール（予定）

11月20日（土）～28日（日） ポスター発表資料開示、大会企画講演 《オンデマンド配信》

11月27日（土）・28日（日） 《ライブ配信》


11/27 （土）	8:45～	9:00～ 10:00	10:10～ 11:10	11:20～ 12:20	12:20～ 13:00	13:00～ 14:00	14:10～ 15:10	15:20～16:20	16:30～17:30
	開会式	ポスター 発表A	ポスター 発表B	ポスター 発表C	昼食	口頭 発表A	口頭 発表B	総会/学会賞 記念講演	情報交換会
	Zoom	BOR	BOR	BOR		BOR	BOR	Zoom	Remo
11/28 （日）	9:00～ 10:00	10:10～ 11:10	11:20～ 12:20	12:20～ 13:00	13:00～ 14:00	14:10～15:40		15:50～17:20	17:30 ～
	ポスター 発表D	ポスター 発表E	口頭 発表C	昼食	口頭 発表D	学会企画 シンポジウム		RTD	閉会式
	BOR	BOR	BOR		BOR	Zoom		BOR	Zoom

Zoom：Zoom ミーティングのメインルーム、BOR：Zoom のブレイクアウトルーム、

Remo：オンラインイベントツール

*発表件数等によりスケジュールは変更する場合があります。


■ ポスター発表の形式

- 発表資料（PDF ファイル）は、11月20日（土）から28日（日）までの9日間、大会公式HP上で大会参加者に公開されます。
- 11月20日（土）から28日（日）までの間、「 slack（オンラインによるチャットツール）」で質問等を受け付けますが、発表者の回答は任意とし、原則、発表者は事前に割り当てられた11月27日（土）または28日（日）のポスター発表時間（責任在席時間は前半または後半の30分間）にBORにて質疑応答を行います。
- 各BORでは、記録のため大会事務局でレコーディングさせていただきます。


■ 口頭発表の形式

- 発表者は、事前に割り当てられた11月27日（土）または28日（日）の口頭発表時間に、BORで口頭発表と質疑応答を行います。
- 口頭発表時間は15分、質疑応答は10分です（計25分）。
- 進行は、各BORに配置された座長の指示に従ってください。
- 各BORでは、記録のため大会事務局でレコーディングさせていただきます。

■ 学会企画シンポジウムの進め方

- 11月28日（日）の予定時刻にZoomにて、司会ならびに各シンポジストが登壇し、シンポジウムがライブ配信されます。
- 質問やディスカッション等の方法は、当日、司会者の指示に従ってください。
- 記録のため大会事務局でレコーディングさせていただきます。
- ご意見やご感想等は、「 slack」にお寄せください。

■ 大会企画講演の進め方

- 11月20日（土）から28日（日）までの9日間、大会公式HP上でオンデマンド動画を大会参加者に配信します。参加者自身の都合に合わせて、是非、動画をご視聴ください。
- それぞれの講演者に対するご意見やご感想等は、「 slack」にお寄せください。

■ RTDの進め方

- 11月28日（日）の予定時刻にBORにて、司会ならびに各話題提供者が登壇し、RTDがライブ配信されます。
- 各BORでは、記録のため大会事務局でレコーディングさせていただきます。
- 質問やディスカッション等の方法は、当日、司会者の指示に従ってください。

■ 総会／学会賞記念講演の進め方

- 11月27日（土）の予定時刻にZoomにて、総会／学会賞記念講演がライブ配信されます。資料等は、大会公式HPまたはZoomのチャット機能を用いて配信する予定です。
- 質問等の方法は、当日、司会者の指示に従ってください。

■ 情報交換会の進め方

- 情報交換会への参加は無料です。参加人数を確認する都合上、学会大会への「参加申し込み」の際に参加希望の有無に回答してください。
- 大会公式HPに、情報交換会のためのツール「Remo」のリンクを設置します。11月27日（土）の予定時刻に「Remo」のメインルームで開催されます。
- 参加方法は、事前配布される資料をご確認ください。
- 当日は、司会者の進行および指示に従ってください。

■ 学会大会の「参加申し込み」

- 「参加申し込み」は、7月26日（月）より11月28日（日）まで、随時受け付けます。大会公式HP (<https://taikai48.jssp.jp/>) の「参加申し込み」から、参加登録をお願いいたします。
- 事前「参加申し込み」の期限は、8月31日（火）15時です。会員の方は、この日までに年会費を納入してください。年会費の納入状況は、スポーツ心理学会HPの「会員 MyPage」で確認できます。ただし、年会費の納入先は、大会参加費の支払い先とは異なりますので、ご注意ください。
- 2021年3月31日付で、学会年会費が3年連続して未納の方は、正会員の資格が失効しています。「発表申し込み」をする場合、あるいは入会希望者の推薦人になる場合には、事前に資格の有無を確認してください。

■ 一般発表（ポスター・口頭）の「発表申し込み」

- 「発表申し込み」の方法は、Web登録のみとなります。
- 発表希望者（筆頭および共同発表者）は、上記「参加申し込み」のページ下部にある「発表に関する申込」から希望する発表方法にチェックを入れ、8月31日（火）15時までに送信してください。
- 筆頭発表者には、参加申し込み確認メールが返信されます。抄録テンプレートを指定URLからダウ

ンロードの上、指定した様式で発表抄録原稿を作成し、8月31日(火)15時までにPDFファイルを抄録アップロードサイトに提出してください。

- 発表抄録は、PDF形式のファイルに限ります。
- 学部生は筆頭または共同発表者になることはできません。
- 発表できる内容は、未発表の研究で、完結しているものとします。
- 申し込みのあった抄録は、以下の点について妥当であるか確認いたします。
 1. 日本スポーツ心理学会の研究発表としてふさわしい内容か
 2. 研究手続きとして「日本スポーツ心理学会倫理綱領」に沿ったものであるか
 3. 研究発表として体裁は整っているか（方法や結果が明示されているか）

※もし内容に問題がある場合、筆頭発表者にEメールで連絡いたします（9月中旬予定）。
- 抄録の差し替えや修正等が必要な場合、あるいは2回以上の申し込みを行った場合は、大会事務局までご連絡ください。
- 必ず共同発表者も含め、発表者全員の「発表申し込み」をお済ませください。「参加申し込み」と「発表申し込み」、および大会参加費の支払いにより、発表手続き完了となります。

■ ポスター発表資料（PDFファイル）のアップロードについて

- ポスター発表資料（PDFファイル）の形式は、ポスター、スライド、ノート付きスライドの3種類の中から、いずれかを選択してください。
- ポスター発表資料（PDFファイル）の詳しい形式およびアップロードの手順は、参加申し込み確認メールにてご案内します。アップロードの期限は、11月10日（水）を予定していますので、早めの準備をお願いいたします。

■ 大会参加費の支払い

- 大会参加費の支払いは、同封の「払込取扱票」を用いて郵便局で行ってください。「参加申し込み」後、この支払いをもって手続きが完了となります。どちらか一方のみでは完了となりません。
- 事前「参加申し込み」による事前参加費の支払期限は、9月10日（金）です。
- 発表希望者（筆頭および共同発表者）の学会年会費が8月31日（火）までに完納されていない場合や、大会参加費が9月10日（金）までに支払われていない場合、大会プログラムおよび抄録集に掲載できません。なお、原則、大会参加費は支払い後の返金はいたしません。
- 共同発表者がいる場合は、共同発表者の参加の如何に関わらず、「参加申し込み」と大会参加費の支払いを必ず行ってください。
- 大会参加費の支払いに際しては、1名につき1枚の「払込取扱票」を使用することとし、1枚の「払込取扱票」で複数名の支払いはしないでください。複数名の支払いをした場合、参加費の支払いが無効となりますので、ご注意ください。
- 同封の「払込取扱票」のチェック欄をご参照ください。ご希望項目にチェックをした上で、合計金額をお支払いください。
- 「払込取扱票」をお持ちでない方（紛失を含む）は、下記の通りお支払いください。

【郵便局備え付けの「払込取扱票」をご利用の場合】

- 座 種 類： ゆうちょ銀行 振替口座
 □座記号番号： 00890-2-154606 番
 □ 座 名 称： 日本スポーツ心理学会・学会大会実行委員会

【重要】 通信欄に、以下の情報を正確にご記載ください。

- ① 会員種別：会員（一般）、会員（大学院生）、非会員
- ② 研究発表抄録集の購入冊数
- ③ 合計金額

		大会参加費	
		8月31日までの 事前申し込み	9月1日以降の 申し込み
会員	一般	¥4,500	¥5,500
	大学院生	¥2,500	¥3,500
非会員		¥5,500	¥6,500

研究発表抄録集	¥2,000	() 冊
---------	--------	-------

合計金額	
------	--

【他銀行等をご利用の場合】

- 銀 行 名 ・ 店 名： ゆうちょ銀行 ○八九（ゼロハチキュウ）店 （店番 089）
 預金種目・口座番号： 当座 0154606
 □ 座 名 称： 日本スポーツ心理学会・学会大会実行委員会

【重要】 振込人は「氏名 会員番号」としてください。

*注意事項： 会員の大会参加・発表には、学会年会費の納入が必要です。納入先は、大会参加費の支払い先とは異なりますので、ご注意ください。

■ 重要な日程

日 時	内 容
7月26日（月）正午	事前「参加申し込み」・「発表申し込み」の受付開始
8月31日（火）15時	事前「参加申し込み」・「発表申し込み」の締め切り 事前「参加申し込み」した会員の年会費の納入期限
9月10日（金）	事前参加費の支払い期限
9月中旬	発表確定のお知らせ
11月初旬	大会プログラム（冊子）・抄録集の発送、プログラムのWeb公開
11月10日（予定）	ポスター発表資料（PDFファイル）のアップロード期限
11月20日（土）	学会大会発表内容公開開始 ポスター発表資料公開、大会企画講演 《オンデマンド配信》
11月27日（土）	ポスター・口頭発表、総会、情報交換会（Remo） 《ライブ配信》
11月28日（日）	ポスター・口頭発表、学会企画シンポジウム、RTD 《ライブ配信》 学会大会発表内容公開終了

■ 学会企画シンポジウム

日 時：11月28日（日） 14:10～15:40（予定） 《Zoomによるライブ配信》

テ ー マ：「東京オリンピック・パラリンピック後の意識および社会変革を考える
ースポーツ心理学（者）の役割ー」

話題提供者：三木 ひろみ（流通経済大学）

内田 若希（九州大学）

菅生 貴之（大阪体育大学）

司 会：山崎 史恵（新潟医療福祉大学）

概 要：

オリンピック・パラリンピックは、人々の意識や社会に変革を生じさせると期待されているが、「変わる」ことを待っているのでは不十分であり、自ら「変えていく」ことが必要であると考え。今回のシンポジウムでは、TOKYO2020を契機として、どのような意識・社会変革が可能であるのか、また、その変革過程において、スポーツ心理学界やスポーツ心理学者は、どのような役割を果たすことができるのかについて、「SDGsの達成」、「共生社会の実現」、「心理サポート活動が残したレガシー」の3つの観点から検討する。

「SDGsの達成」については、体育・スポーツ教育に関わる国際学会にも深く関わってこられた三木ひろみ氏より、「国連やスポーツ庁のスポーツに対する期待」、「オリンピック・パラリンピック大会における、持続可能性を踏まえた様々な取り組み」、「地球規模の課題を自己の課題とするために必要な意識変革」等について、お話しいただく。

「共生社会の実現」については、パラスポーツに造詣が深い内田若希氏より、「そもそも、共生社会とは何か」、「インクルージョンの理念と本質」、「パラアスリート・パラリンピックの功罪」、「視点の多様性の必要性」等について、お話しいただく。

「心理サポート活動が残したレガシー」については、ゴルフの日本ナショナルチームで心理サポート活動を行っている菅生貴之氏より、「日本ゴルフ協会の強化・支援体制の整備」、「各専門スタッフの協働体制の確立」、「新しいゴルフコーチングの追求と実現」、「その中で、心理サポートをどのように機能させてきたか」等について、お話しいただく。

そして、これら様々な観点からの洞察や提案を、臨床的視点を有する山崎史恵氏が、指定討論者の役割も担いながら、集約していく。その結果として、新しい研究の方向性や社会貢献のあり方が見出されれば、本望である。

■ 大会企画講演

日 時：11月20日（土）～28日（日） 《オンデマンド配信》

テ ー マ：「オープンイノベーションによるスポーツ心理学の可能性」

概 要：

オープンイノベーションとは、他領域や外部との連携によって新しい価値を創造することを意味している。本講演の主旨は、スポーツ心理学研究が自身のイノベーションを促進するために、他の研究分野を含む多様な領域と連携・協働することによって、あるいは外的資源を活用することによって、スポーツ心理学研究の新たな価値を見出すことができるのか、その可能性を探求することである。

そこで、海外より国際スポーツ心理学会（ISSP）元副会長の Van Raalte 教授に最新のセルフトーク研究や、それらに基づく他領域との連携の可能性について提案をいただく。また、人とロボットが共存する未来に挑む「ドラえもんを本気でつくる」研究に従事している大澤正彦氏（認知科学、工学、AI）、皆が聞き慣れているエレベーターの音や高級車カーナビの音を作る川上央氏（感性情報学、音響生態学）、臨床社会心理学を専門とし、閾値下の抑うつや新しいタイプの抑うつ、あるいはメンタルヘルスの研究でも著名な坂本真士氏、以上 4 名の演者から、今後のスポーツ心理学研究が他領域とのコラボレーションを可能にすることができるのか、有意義な示唆が得られることを期待したい。

今回、当学会大会をオンライン開催することに伴い、オンラインの特徴を十分活かした企画とするために、多くのオンデマンド動画を配信することとした。学会期間中、参加者自身の都合に合わせて、是非、すべての動画を視聴し、スポーツ心理学研究の可能性を拡げていただけたら幸いである。

演 者：

- 1) Judy L. Van Raalte (Springfield College/教授、ISSP/元副会長)
「セルフトークとパフォーマンス」
- 2) 大澤 正彦 (日本大学文理学部情報科学科/助教、次世代社会研究センター/センター長)
「ドラえもんを本気でつくる - 認知・神経・人工知能を統合した学際的知能研究の展望」
- 3) 川上 央 (日本大学芸術学部音楽学科/教授)
「感覚・感情・感動」
- 4) 坂本 真士 (日本大学文理学部心理学科/教授)
「臨床社会心理学から拓くスポーツ心理学の可能性」

*演者・題目は、追加・変更する場合があります。

以 上